



東広島市長
高垣広徳

高垣ひろのり 市政通信 vol. 5



略歴

大阪大学工学部卒、中央大学法学部卒
広島県職員 - 東広島地域事務所建設局次長
- 土木整備部長、土木局長等を務める
(株)サタケ エンジニアリング本部部长
広島県副知事

高垣ひろのり後援会事務所

(1月中)
〒739-0041
東広島市西条町寺家6656-2 寺家会館 1F
TEL 082-490-3681
FAX 082-490-3682
e-mail hironori.takagaki2020@outlook.jp
(2月以降)
〒739-0043
東広島市西条西本町1332

2022年(令和4年壬寅)の抱負

「新しい時代をリードする やさしい未来都市東広島の実現」

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様が、健やかに新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。旧年中は、市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

今年の干支は、「壬寅(みずのえとら)」です。「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊(はら)む」、「寅」は「蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージです。

一昨年来のコロナ禍で様々な制約に耐えながらも、「新たな日常」を構築しながら発展に向かう、まさに今年を象徴しているように感じます。

東広島市の2030年の姿は、「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」として、広島県の発展をリードしていく都市です。その方向は、「世界に貢献するイノベーション創造」のまちであり、また「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」です。昨年は広島大学と東広島市の連携した取り組みであるTown&Gownが進展し、2030年を目標に排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素の中立を図る、いわゆるカーボンニュートラルや次世代の通信技術である5Gによって社会課題を解決し、利便性や快適性を目指すスマートシティに向け、民間企業を巻き込んだ取り組みが進展しました。また、疲弊しつつある中山間地域は、コロナ禍を経験することにより、「適疎」という新しい価値が評価され、新たな生活価値を創造するためマツダと連携し、循環型の経済をこれらの地で展開することとなりました。昨年は、このように本市が目指す「やさしい未来都市」の実現に向け、大学や企業を巻き込んで着実に進展した年でした。

今年度は、誰一人として取り残さない持続可能な社会を目指す「SDGs」の理念と、あらゆる社会活動の課題をデジタルや通信技術によって解決することにより、命と暮らしを守る施策の推進や仕事と生活価値を創造する基盤づくりなど、市民の皆様の「幸福度」の向上を目指した取り組みを一段と加速したいと考えています。

今後とも、市政への一層のご支援とご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心からご祈念申し上げます。



公式ウェブサイト
高垣ひろのり



2021年(令和3年)回顧

社会情勢		東広島市の主な出来事	
<ul style="list-style-type: none">・アメリカ合衆国大統領にバイデン氏が就任	1月	東広島市、広島大学、民間企業による包括的な連携推進に関する協定の締結 ・Society5.0やスマートシティの実現、並びに国際的な展開を相互に連携しながら推進し、地域、国及び世界の発展に寄与することを目的として、住友商事株式会社と市、広島大学との3者による協定を締結した。	
<ul style="list-style-type: none">・マイクロモビリティプラットフォーム会社が東広島市へ本社を移転	2月	西高屋駅南北自由通路等の整備に着手 ・JR西高屋駅の南口と北口を結ぶ南北自由通路や、情報の収集・発信と賑わい創出の拠点として整備する情報ラウンジ等の整備に着手した。	西高屋駅▶ 
<ul style="list-style-type: none">・[新型コロナウイルス感染症] 緊急事態宣言全面解除	3月	自動運転実証実験の開始 ・産学官で組成する「東広島市Autono-MaaS推進コンソーシアム」において、広島大学構内における自動運転の運行について実証実験を開始した。 地域共生社会の形成を促すための施策の推進に関する条例(ぐるマル条例)の制定 ・市民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域共生社会を形成するために、その基本理念及び市、市民、事業者、関係機関の責務などを定めた条例を制定した。	
<ul style="list-style-type: none">・[新型コロナウイルス感染症]3度目の緊急事態宣言・[新型コロナウイルス感染症]高齢者のワクチン接種が始まる・参議院議員広島選挙区再選挙が執行される。・回勢調査の速報値が発表され、東広島市の人口は、前回調査より0.2%増加し、196,755人となった。	4月	市民ポータルサイトの運用開始 ・行政サービスにおけるデジタルトランスフォーメーション(DX)推進の一環として、インターネットにより市民と市役所をつなぐ新たな行政サービスの窓口となる「市民ポータルサイト」の運用を開始した。 高度救助隊の発足 ・複雑・多様化する災害に迅速・的確に対応するため、高度な救助技術と最新の資器材を有する高度救助隊(通称:HEART(ハート))を発足した。	 市民ポータルサイト▶
<ul style="list-style-type: none">・16日[新型コロナウイルス感染症]広島県に緊急事態宣言～6月20日	5月	令和2年度の市税収入が過去最高の373億円に ・コロナ禍にあっても、企業の堅調な設備投資や新たな雇用の創出により、これまでの最高額を41億円以上上回った。また、300億円超えは、5年連続となった。 令和2年度東広島市成人を祝う会の延期 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和3年11月1日に予定していた成人を祝う会を5月2日に延期し開催した。	
<ul style="list-style-type: none">・広島大学が、東広島キャンパスにある法学部の東干田キャンパスへの移転を発表	6月	新型コロナウイルスワクチンの広島大学での大規模接種の開始 ・広島大学と共同で、学生や教職員など約1万8千人を対象とした、新型コロナウイルスワクチンの大規模接種を開始した。 西条東保育所新園舎の開設 ・老朽化していた西条東保育所を建て替え、新園舎を開設した。	新型コロナウイルスワクチンの職域接種の開始▶
<ul style="list-style-type: none">・広島空港が完全民営化・東京オリンピック開幕	7月	東広島市、広島大学、民間企業による包括的な連携推進に関する協定の締結 ・Society5.0やスマートシティの実現、並びに国際的な展開を相互に連携しながら推進し、地域、国及び世界の発展に寄与することを目的として、ソフバンク株式会社及び株式会社フジタと市、広島大学との3者による協定を締結した。 (仮称)東広島消防署高屋分署造成工事に着手 ・令和5年4月の開署に向けて、建設予定地の造成工事に着手した。施工面積は3,931㎡、工期は令和4年3月末までを予定している。	
<ul style="list-style-type: none">・パラリンピック・東京大会開幕	8月	地域おこし協力隊員を配置 ・新たな人材の定住と地域を活性化するため、地域おこし協力隊員を河内地域に1人配置した。	
<ul style="list-style-type: none">・DXの推進に向けて、デジタル庁が発足した。・日本製鉄が、呉市の製鉄所で高炉の機業を停止し、およそ60年にもわたる歴史での鉄の生産を終えた。	9月	広島臨空エリア活性化パートナーシップ協定の締結 ・本市が加盟する広島臨空広域都市圏振興協議会と広島国際空港株式会社との間で、臨空エリアの活性化を図ることを目的としたパートナーシップ協定を締結した。	
<ul style="list-style-type: none">・岸田新総理誕生・第49回衆議院議員総選挙が執行される	10月	広島大学フェニックス国際センターMIRAI CREAの開設 ・イノベーションや新たなビジネスを創出するとともに、内外の多様な人々との交流や知識の循環を生み出し、さらには海外のトップ研究者や優れた留学生に対して、安全で快適な居住空間を提供する機能を持った拠点施設として、広島大学フェニックス国際センター「MIRAI CREA」が開設した。 新型コロナウイルス自宅療養者への支援の実施 ・医療体制がひっ迫したため、保健所との連携を強化し、自宅療養患者への生活支援物資の提供を緊急決定するなど、感染拡大防止対策を行った。	◀MIRAI CREA  ◀広島中央エコパーク 
<ul style="list-style-type: none">・2020回勢調査の確定値が公表され、40年振りに広島県の人口が280万人を割り込んだ。	11月	街なかぎわい創出社会実験「ALC'mon(アルカモン)」の実施 ・西条駅周辺を「歩いて楽しいにぎわいのある街」にするため、市民が連携し、ブルバール歩道や西条中央公園に賑わいを創出する社会実験を実施した。 第1回「ぶちうまいお米コンテストin東広島」の開催 ・東広島市産の主食用米の食味向上、地産地消の推進及びブランド化を推進するため、第1回「ぶちうまいお米コンテストin東広島」を開催した。	◀ALC'mon(アルカモン)  
<ul style="list-style-type: none">・[新型コロナウイルス感染症] オミクロン株が日本で初めて確認される・[新型コロナウイルス感染症] ワクチンの3回目接種が開始される	12月	東広島国際フェスタ2021の開催 ・言語や文化の違いにかかわらず、多くの市民が参加し、交流できる機会を創出するため、「東広島国際フェスタ2021」を初めて開催し、約2,400人が来場した。企画段階から、国際関係団体や学生など約10か国の外国人市民もスタッフとして参画し、イベントを共に創り上げた。 東広島市、マツダ株式会社と株式会社博報堂による生活価値創造に関する包括連携協定を締結 ・東広島市、マツダ株式会社と株式会社博報堂は生活者視点での新たな暮らし方、生活価値の創造に向けた協力・連携協定を締結した。	東広島国際フェスタ▶ 



1 東広島市が目指そうとする「やさしい未来都市」とは

【答弁要旨】
「新たなブランドメッセージの「やさしい未来都市・東広島」は、2015年、国連によって採択されたSDGsの「誰一人として取り残さない」という理念を基軸として策定した第五次総合計画をより身近にご理解いただくため策定したものです。「やさしい」をひらがな表記としたのは、「優しい」と「易しい」の両方の意味を持たせようとするもので、デジタル化など新たな時代が進展する中においても、市民の誰もが不安なく、安心して暮らすことのできるまちを、目指していこうとするものです。

2 「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」の宣言について

【答弁要旨】
地球温暖化対策推進法の改正など、具体的な取組みの内容とその行程等が明らかとなり、現在策定している本市の第2次東広島市環境基本計画案においても、2050年の望ましい環境像として、脱炭素社会への転換を明記しております。このような状況の中、排出量の大きい本市内の事業所の約7割から、ゼロカーボンシティ宣言をすることについて、「賛同」との意向を伺っており、また、電子デバイス関連企業や自動車関連企業についても、再生可能エネルギー100%、カーボンニュートラルへの挑戦等、それぞれ取組みを進められております。こうしたことを踏まえ、令和4年第1回定例会に計画案を提案し、議決をいただきました際には、正式に市民の皆様へ表明してまいりたいと考えております。

3 中央生涯学習センター跡地の活用について

【答弁要旨】
中央生涯学習センター跡地につきましては、昨年度、企業・団体・学生など様々な分野・年代で構成される皆様によるワークショップやまちづくりの専門家も交えて検討を重ねた結果、「アート・カルチャー・スポーツ・マルシェなど市民の暮らしを豊かにする多様なコンテンツを実施できる自由度の高い空間＝広場」として整備する方針を取りまとめております。平成29年度に検討することとした「公共機能」につきましては、市役所本庁舎北側の敷地等を活用する方向としており、その「機能」につきましては、例えば、地域共生や子育て、教育、地域活動など市民サービスが向上し、市の中心部にふさわしい拠点的なものとなるよう、検討を進めております。

4 水道料金の見直しの検討状況について

【答弁要旨】
管路更新、耐震化、施設更新等を着実に実施すると同時に、将来の水需要等を勘案し、今後の経営見直しを検証した結果、値下げしても健全な経営が維持できると判断でき、基本料金の概ね1割程度の値下げが可能と試算しております。また、料金改定の時期につきましては、使用料等審議会への諮問・答申を経て、令和4年第1回定例会に条例改正の議案を提出し、ご審議、ご議決をいただいた上で、令和4年4月から新料金に改定できるものと考えております。

5「暮らし輝き笑顔あふれる生活価値創造のまち」の将来都市像について

【答弁要旨】
「生活価値創造のまち」の将来都市像は、本市の豊かな自然と快適で心豊かな暮らしの調和した環境の中、多様な市民がお互いに支え合いながら、一人ひとりご安心安全に暮らし、笑顔で活躍することのできる持続可能なまちの実現を目指すものでございます。こうした「生活価値創造のまち」は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、社会全体のあり方が大きく変わり、ウイルスとの共生が模索される中、高齢化や人口減少が進む一方で豊かな自然環境を有する中山間地域において、より先行的に実現できる可能性があるものと考えております。

市長2期目に向けた重点施策

1. 命と暮らしを守る体制の整備

- ・災害死ゼロを目指した防災対策
- ・感染症を踏まえた医療体制の整備



2. 仕事と生活価値を創造する基盤づくり

- ・Hi-Bizの強化による中小企業者の活性化
- ・成長産業が集まり、新たな企業立地と投資の促進
- ・農業の生産性向上と観光の融合による豊かな農村生活の実現

3. 誰ひとり取り残さない多様性と調和社会の実現

- ・安心して子どもを産み育てられるまちづくり
- ・次の時代を見据えた地域共生社会の実現
- ・国際色豊かなまちの形成

4. 多彩な地域の特徴を生かしたまちづくり

- ・地域別計画の推進による地域の誇りの創出
- ・希望ある未来へ挑戦するプロジェクトの展開
(Town&Gown、スマートシティ構想、生活デザイン研究所構想)

5. 時代を担う子どもを育てる教育・保育の推進

- ・学校支援センター、子どもの育ち未来プロジェクトの創設
- ・個別最適な学びとGIGAスクールの発展

6. 持続可能な次世代環境都市の構築

- ・脱炭素化の推進
- ・豊かな自然環境の保全と活用
- ・ゴミの減量化プロジェクトの推進



SNSを充実させています。

LINE



Twitter



Instagram



YouTubeチャンネル



高垣広徳個人
Facebookアカウント



高垣ひろのりを
応援する会Facebook

